



## 【子どもを持つ親 1000 名に聞いた“勤労感謝の日”アンケート調査】

**日々の仕事や家事の疲れを癒してくれるのは、  
1位「子どもの笑顔」(67.0%)、2位「睡眠」(57.5%)、  
3位「家族の団らん」(53.7%)**

**“勤労感謝の日”に望むことは、「親子で一緒に過ごしたい」が最も多く、  
「働くことについて考えてもらいたい」「子どもから感謝の言葉をもらいたい」が続く。**

日本マクドナルド株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役会長兼社長兼 CEO:原田泳幸)は、11月23日(金・祝)の“勤労感謝の日”に合わせ、小学生の子どもを持つ保護者 1,000名を対象にしたアンケート調査を実施いたしました。

本アンケート調査は、日本マクドナルドが“勤労感謝の日”を通じ、『働くこと』について親子で考えるなど、もっと親子のコミュニケーションに活用いただきたいと考え、実施したものです。

調査では、“勤労感謝の日”について、「子どもからしてもらったこと」は「特になし」が最多の 68.2%となり、“勤労感謝の日”を普段の休日と同じように過ごし、特別なコミュニケーションはしていない親子が多い一方、「子どもにしてもらいたいこと」では、「親子で一緒に過ごしたい」(36.0%)や「子どもに『働くこと』について考えてもらいたい」(30.7%)が上位となるなど、“勤労感謝の日”を親子のコミュニケーションに活用したいという思いが浮き彫りになりました。

“勤労感謝の日”アンケート調査の主な結果は以下の通りです。

### 【子どもを持つ親 1000 名に聞いた“勤労感謝の日”アンケート調査 主な結果】

- 1) 「仕事や家事の疲れを癒してくれるもの」のトップは「子どもの笑顔」(67.0%)。「睡眠」(57.5%)、「家族団らん」(53.7%)と続く。家族や子どもとのコミュニケーションに“癒し”を感じている親が多い結果に。
- 2) “勤労感謝の日”に望むことは、「親子で一緒に過ごしたい」(36.0%)が最も多く「子どもに『働くこと』について考えてもらいたい」(30.7%)、「感謝の言葉をもらいたい」(23.2%)、「プレゼントをもらいたい」(3.2%)が続く。
- 3) “勤労感謝の日”に「子どもからしてもらったこと」は「感謝の言葉」(21.6%)が最も多く、「家事の手伝い」(12.5%)、「プレゼント」(8.6%)と続く。一方、「特になし」(68.2%)も約 7 割に。
- 4) 自分の子どもに「就職前に働く体験をして欲しい」と感じている親は 93.0%に上る。

#### 【調査概要】

- ・調査期間: 2012年11月6日(火)~7日(水)
- ・調査方法: インターネット調査
- ・調査対象: 小学生の子どもをもつ保護者 1000名  
(男性 500名/女性 500名)
- ・調査機関: 楽天リサーチ

日本マクドナルドでは、11月23日(金・祝)“勤労感謝の日”当日、「お父さん、お母さんに感謝と笑顔(スマイル)を届けよう」をテーマに、都内の総合研究施設「スタジオ M」にて、親子 34組 68名を招き、子どもたちがマクドナルドの仕事体験やハンバーガーづくりに挑戦する親子イベントを実施する予定です。

<一般のお客様のお問い合わせ先>

マクドナルド公式ホームページ

<http://www.mcdonalds.co.jp/>

## “勤労感謝の日”アンケート調査 主な結果

◆「仕事や家事の疲れを癒してくれる」のは「子どもの笑顔」(67.0%)がトップ。次に「睡眠」(57.5%)、「家族団らん」(53.7%)と続く。家族や子どもとのコミュニケーションに“癒し”を感じている親が多い。

「仕事や家事の疲れを癒してくれるもの」は何か聞いたところ、「子どもの笑顔」(67.0%)が最も多く、「睡眠」(57.5%)、「家族団らん」(53.7%)と続いた。子どもを持つ親は家族や子どもとのコミュニケーションに“癒し”を求めている人が多いことが改めて明らかになった。

【Q1.あなたにとって仕事(家事)の疲れを癒してくれるものは何ですか？(複数回答)】

順位	項目	割合
1位	子どもの笑顔	67.0%
2位	睡眠	57.5%
3位	家族団らん	53.7%
4位	趣味	45.6%
5位	お風呂	38.6%
6位	食事	33.7%
7位	買い物	28.3%
8位	エンターテインメント(TV、CD、映画など)	27.5%
9位	お酒	24.7%
10位	外出	23.1%

◆“勤労感謝の日”に「子どもにしてもらいたいこと」は、「親子で一緒に過ごしたい」(36.0%)が最も多く、「子どもに『働くこと』について考えてもらいたい」(30.7%)、「感謝の言葉をもらいたい」(23.2%)、「プレゼントをもらいたい」(3.2%)が続く。

“勤労感謝”の日に「子どもにしてもらいたいこと」を聞いたところ、「親子で一緒に過ごしたい」(36.0%)や、「子どもに『働くこと』について考えてもらいたい」(30.7%)が上位を占め、「感謝の言葉(メール・手紙を含む)をもらいたい」(23.2%)や「プレゼントをもらいたい」(3.2%)といった“自分に対する感謝の行動”を上回った。“勤労「感謝」の日”といえど、親が子どもに求めているものは“感謝”よりも「親子のコミュニケーション」や「働くことへの関心」が多い傾向が明らかになった。

【Q2.あなたが“勤労感謝の日”に子どもにしてもらいたいことは何ですか？(複数回答)】

順位	項目	割合
1位	親子で一緒に過ごしたい	36.0%
2位	子どもに「働くこと」について考えてもらいたい	30.7%
3位	子どもから感謝の言葉(メール・手紙を含む)をもらいたい	23.2%
4位	子どもに家事を手伝ってもらいたい	18.9%
5位	子どもからプレゼントをもらいたい	3.2%
—	特にない	30.6%

◆“勤労感謝の日”に「子どもからしてもらったこと」は「子どもからの感謝の言葉」(21.6%)が最も多く、「家事の手伝い」(12.5%)、「プレゼント」(8.6%)と続く。一方、「特になし」(68.2%)も約7割に。

“勤労感謝の日”に実際に「子どもからしてもらったこと」を聞いたところ、「感謝の言葉(メール・手紙を含む)をもらった」が21.6%と多く、「家事の手伝いをしてもらった」(12.5%)、「プレゼントをもらった」(8.6%)が続いた。一方、普段の休日と変わらず「特にない」と回答した方が約7割(68.2%)と最も多く、「子どもにしてもらいたいこと(Q2)」が様々ある一方、実際には「親子のコミュニケーションの機会」や「子どもに『働くこと』へ関心をもってもらうきっかけ」としては活用できていない実態も浮き彫りとなった。

【Q3. あなたが“勤労感謝の日”に子どもからしてもらったことは何ですか？(複数回答)】

順位	項目	割合
1位	感謝の言葉(メール・手紙を含む)をもらった	21.6%
2位	家事の手伝いをしてもらった	12.5%
3位	プレゼントをもらった	8.6%
4位	(勤労感謝の日ということで)親子一緒に過ごした	5.7%
—	特にない	68.2%

◆自分の子どもに「就職前に働く体験をして欲しい」と感じている親は93.0%に上る。

自分の子どもに「就職する前にも働く経験をして欲しい」か聞いたところ、「欲しい」とする回答が全体の9割以上を占め、小学生の子どもに『働くこと』への興味や関心を抱いて欲しいと考える親が非常に多いことが明らかとなった。

【Q4.あなたは自分の子どもに対して、就職する前にも働く経験(アルバイト、インターンシップ、職業体験など)をして欲しいと思いますか？】

